

平成17年度国土施策創発調査

食文化を核とした観光的な魅力度向上による
地域活性化調査報告書

平成18年3月

国土交通省総合政策局

はじめに

近年、食に対する意識が高まり、食材そのものだけでなく生産地や生産者に対する「こだわり」が消費者に芽生えつつあります。また、欧米をはじめ、アジアでも日本食のヘルシーさや日本産の食材の品質の高さが認知されるなど、国際的に見て日本の食に対する評価が高まっています。

さらに、食材、料理、食文化等はその土地固有の自然環境や歴史と密接に結びついたもので、地域の魅力を構成する重要な要素であるため、これらを生かした地域振興の取組が、各地で展開されはじめています。

一方、食は日常生活のみならず、観光という非日常的な場面においても大切な楽しみの一つで、「旅行先ではその土地ならではの美味しいものを味わいたい」という旅行者のニーズは大変高いとされています。

しかし、現実的にはコストや効率等の問題から、必ずしもこのようなニーズに十分応えられていない状況にあります。

こうした状況を踏まえ、食と観光の連携の視点から、地域における地産地消や地域食材の観光への活用等の取組状況を見つめ直すとともに、今後の食と観光の一層の連携強化の在り方やその具体的方策について検討することは、消費者(観光客)と地域(観光地あるいは生産地)双方の視点から地域活性化を図る際に非常に重要なテーマであると考えました。

本調査では、食と観光の連携により期待される効果や課題を整理した上で、食と観光の連携を積極的に進めている地域の取組を参考に、地域活性化を図るための検討手順と、その具体的な方策について検討しました。

また、それぞれの地域特性を生かした特色のある食と観光とが連携した取組の積極的な展開を志す4つの地域(登別市(北海道)、会津若松市(福島県)、那須町(栃木県)、上越市(新潟県))の協力を得てモデル地域として、各々の地域が抱える食と観光が連携するための課題について、創意工夫を生かした実証事業の実施等を通じた解決方策や、地域活性化に資する仕組みについて検討を行いました。

食と観光を連携させた地域活性化を図っていくためには、地域の幅広い関係者が参画し、地域の食の実態やニーズ等の把握に努めるとともに、食と観光の連携の目標像の共通認識を持ちながら、食の魅力の向上や観光的活用のための仕組みづくり等、地域の強みを生かした積極的・主体的な取組を進めることが重要です。

この報告書が食と観光の連携を通じた魅力的な観光地づくりに取り組もうとする多くの方々の参考となれば幸いです。

食文化を核とした観光的な魅力度向上による地域活性化調査報告書

目 次

<要約編>

<本 編>

序 調査の目的	-----1
第1章 食と観光の連携による地域活性化への期待	-----5
1 - 1 . 観光における食の魅力	-----5
1 - 2 . 食と観光の連携により期待される地域活性化効果	-----9
第2章 食と観光の連携に関する課題	-----13
2 - 1 . 観光客の食に関する意識	-----13
2 - 2 . 食と観光の連携に関する問題点	-----24
2 - 3 . 食と観光の連携を充実させるための基本的な課題	-----26
第3章 食と観光の連携による地域活性化方策の検討手順	-----29
3 - 1 . 地域での取り組み方を検討する	-----29
3 - 2 . 地域の食の実態を把握する	-----31
3 - 3 . 関係者のニーズを把握する	-----34
3 - 4 . 目標を設定し課題を明確にする	-----38
3 - 5 . 食と観光の連携方策の組み立て	-----40
3 - 6 . 実践を継続する	-----43
3 - 7 . 体制を充実させる	-----45
第4章 食と観光の連携による地域活性化の具体的方策	-----47
4 - 1 . 食の魅力をつくる	-----47
4 - 2 . 食の魅力の観光的活用	-----61
4 - 3 . 食を提供する仕組みをつくる	-----75
第5章 地域WGの取り組み概要	-----91
5 - 1 . 登別WGの取り組み概要	-----93
5 - 2 . 会津若松WGの取り組み概要	-----97
5 - 3 . 那須WGの取り組み概要	-----101
5 - 4 . 上越WGの取り組み概要	-----105

<参考資料>

食文化を核とした観光的な魅力度向上による地域活性化調査報告書

< 要約編 > 目 次

< 要約編 >

序 調査の目的	要 1
第 1 章 食と観光の連携による地域活性化への期待	要 2
1 - 1 .観光における食の魅力	要 2
1 - 2 .食と観光の連携により期待される地域活性化効果	要 5
第 2 章 食と観光の連携に関する課題	要 7
2 - 1 .観光客の食に関する意識	要 7
2 - 2 .食と観光の連携に関する問題点	要 10
2 - 3 .食と観光の連携を充実させるための基本的な課題	要 12
第 3 章 食と観光の連携による地域活性化方策の検討手順	要 15
3 - 1 地域のポジションと取り組み方	要 15
3 - 2 地域の食の実態を把握する	要 16
3 - 3 関係者のニーズを把握する	要 17
3 - 4 目標設定と課題の明確化	要 18
3 - 5 食と観光の連携方策の組み立て	要 20
3 - 6 実践を継続する	要 21
3 - 7 体制を充実させる	要 22
第 4 章 食と観光の連携による地域活性化の具体的方策	要 23
4 - 1 .食の魅力をつくる	要 23
4 - 2 .食の魅力の観光的活用	要 24
4 - 3 .食を提供する仕組みをつくる	要 25
第 5 章 モデル地域の取り組み概要	要 29
5 - 1 登別WGの取り組み概要	要 31
5 - 2 会津若松WGの取り組み概要	要 33
5 - 3 那須WGの取り組み概要	要 35
5 - 4 上越WGの取り組み概要	要 37